



# つつじが丘

教育目標 ゆたかなまなび たのしいなかま げんきなからだ  
重点目標 とともに高め合う 七谷っ子

加茂市立七谷小学校  
学校より  
令和2年7月15日  
No. 453号

<http://www.ginzado.ne.jp/~7tnj-k/>  
e-mail [k-7tnj@educet.plala.or.jp](mailto:k-7tnj@educet.plala.or.jp)

## アメリカインディアンの子供の教え

～子どもを伸ばす  
魔法の11カ条～より

批判ばかり受けて育った子は  
非難ばかりします

敵意にみちた中で育った子は  
だれとでも戦います

ひやかしを受けて育った子は  
はにかみ屋になります

ねたみを受けて育った子は  
いつも悪いことをしている  
ような気持になります

心が寛大な人の中で育った子は  
がまん強くなります

はげましを受けて育った子は  
自信を持ちます

ほめられる中で育った子は  
いつも感謝することを知ります

公明正大な中で育った子は  
正義心を持ちます

思いやりのある中で育った子は  
信仰心を持ちます

人に認めてもらえる中で育った子は  
自分を大事にします

仲間の愛の中で育った子は  
世界に愛を見つけます

作 訳  
ドロシー・ロー・ノルト  
吉永 宏

この散文詩は、私が先輩から教えていただいた「アメリカインディアンの子供の教え」です。どのようにしてこの詩ができたのか、実は、作者名がドロシーさんであること以外、詳しくはわかっていません。

ですが、この詩を知った時、私は深い感銘を受けました。子どもの心を育むということは、どうすればいいのか、実に分かりやすく示されています。

ぜひ、時々で結構ですので、この中の一つを思い出していただけたらと思います。

「どうして、いつも同じことを言われるの？」

「なんで、これができないの？」

私も2人の子どもの親として、反省しなければならない言動が多々あったと思います。みなさんのおうちではいかがでしょうか。



批判ばかり受けて育った子は 非難ばかりします

しかし、

はげましを受けて育った子は 自信を持ちます

私は、この散文詩を学校の祐筆の先生にお願いし、毛筆で書いていただきました。それを校長室に掲示し、繰り返し眺めています。(裏に続く)

学校評価のアンケートをお願いする時期となりました。  
「おうちでもありがとうございますか」  
これは、「3つの『あ』 ありがとう」についてお尋ねするものです。

ほめられる中で育った子は いつも感謝することを知ります

「ほめる」ことについても、グランドデザインに掲げ、学校で大切にしていることです。ぜひ、おうちでも大切にいただけたらと思います。そして最も大切なのは、アンケート後です。これからも、子どもたちの健やかな成長のために、力を合わせていきましょう。

## 書く力を高める

グランドデザイン七谷小7つのトライ1「友だちの意見と比べながら、自分の考えをまとめる力を育てる」、トライ2「各自が追究した課題について、目標とする字数以上でまとめることができる力を育てる」とあるように、七谷小学校では「書く力の育成」に力を入れています。トライ1は主に各教科で、トライ2は生活科・総合的な学習の時間などで取り組んでいます。

考えを書くことは、自分の頭の中を整理することができるとともに、書いたことを発表することで表現力の育成にもつながっています。各学年が、発達段階に応じて、目標に達成できるように取り組んでいます。

書く力を身に付けることは、結構しんどいことです。「質」と「量」の両面を高めていくことが必要です。

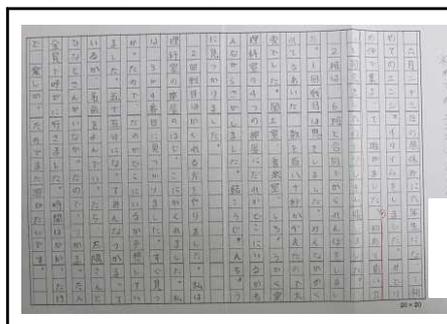
「量」は積み重ねです。一度に大量を書くのではなく、毎時間の振り返りを書く、カードに記入するなどの「小作主義」でためていきます。「質」は内容と丁寧さが柱になります。内容は学年によって、違ってきますが、丁寧さはどの学年でも取り組むことができます。また、「丁寧さ」は子どもたちに身に付けさせたい大事な力です。

この「質」と「量」をサポートしようと、今年度は「ノートコンテスト」と「終了ノートのナンバリング」に取り組んでいます。

「ノートコンテスト」は、子どもが1か月の中で、「このページ、がんばった!」というページを申告します。それを掲示し、他の子が参考にする環境づくりをねらいとしています。「終了ノートのナンバリング」は、教科にかかわらず、使い切ったノートを校長室にもってきて、小学校全体で何冊目の終了なのか、記録を付けていくものです。シンプルですが、ノートを使い切る達成感を、他の子の力も借りながら視覚的に表現しようとするものです。

「校長先生、ノート終わりました!」  
と元気よく校長室に入ってくる子どもの表情が、本当に素敵です。

どちらの取組も自己申告制です。子どもたちが、少しでも書くことに意欲的に取り組んでくれたらと願っています。

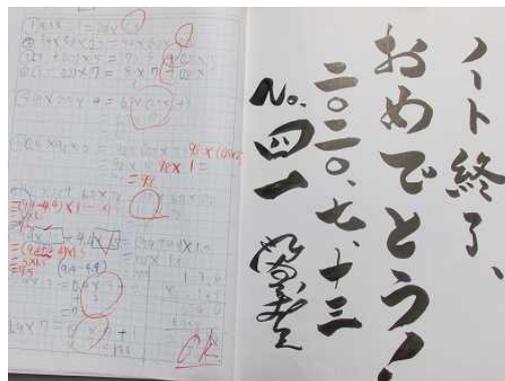


【6年生の廊下掲示より】

今年度、初めて「エンジョイタイム」を行った後の感想文。リーダーとなったときの緊張感ややり終えた後の満足感が書かれています。  
(800字)



【ノートコンテストの掲示】



【終了ノートのナンバリング】

体調を崩す子が増えています。気温は上がっていますが、朝方は肌寒さを感じます。子どもたちは、うがい・手洗いの習慣は身に付いてきているようですが、温度管理はいかがでしょうか。お家でも一声掛けていただければと思います。休み時間、汗をかいて遊んでいます。汗の始末のために、タオルを持たせてください。